

岩手県の水稲生産者の皆さまへ

米価の大幅な下落が懸念されます

再生産可能な農業経営の実現のためには「需要に応じた生産」が必要です！

4月から食料システム法がスタートしましたね。コスト指標※によって米価がコスト割れすることはなくなるの？

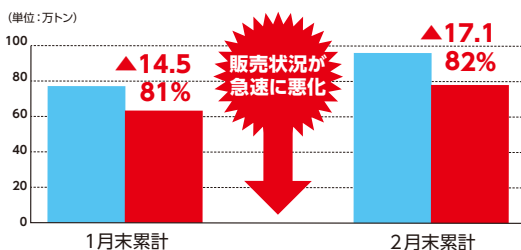
※生産段階のコスト指標は20,535円/60kg(税込、4月時点)



コスト指標は適正な需給環境において機能するものです。需要を無視して生産が行われた場合、再生産可能な価格を下回ってしまう懸念があります

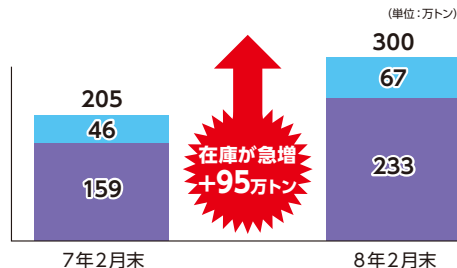
令和7年産米の販売・在庫状況は悪化しています

販売状況 (集荷→卸)



農林水産省「令和7年産米の産地別集荷・販売状況」

民間在庫の状況



農林水産省「民間在庫の推移」

令和8年産米の過剰作付により、米価が大幅に下落する可能性が高まっています

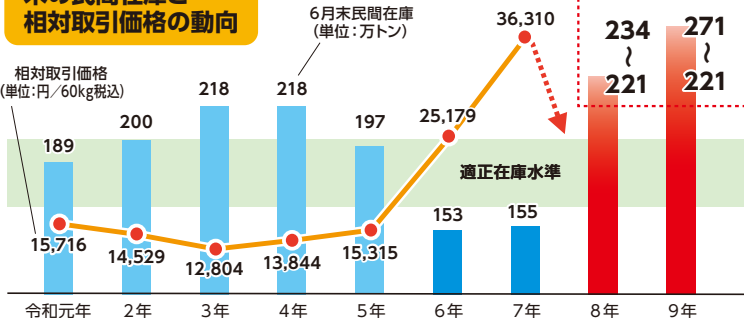
令和8年産の作付意向

政府の需給見通し	711
1月末時点作付意向	732*

需給見通しを21万トン上回る

農林水産省「令和8年産第1回中間的取組状況(1月末時点)」

米の民間在庫と相対取引価格の動向



備蓄米の買戻し(59万トン)を実施しても、適正在庫水準に収まらない恐れ

農林水産省「米の需給見通しについて」
「長期的な主食用米の価格の動向」
令和9年の6月末民間在庫について、下限値は3月23日食料部会の需給見通し、上限値は作付意向調査(令和8年1月末時点)を踏まえた見直しより

再生産可能な農業経営の実現のため、水田活用米穀等の作付けを検討・実行しましょう

岩手県の主食用米の販売・在庫状況(2月末時点)

	販売状況		在庫状況(出荷+販売段階)	
	数量	前年同月比	数量	前年同月比
岩手	25.2	68%	132.3	143%

農林水産省「米穀の取引に関する報告」注1)在庫状況は1年古米を含めた出荷+販売段階の数字

岩手県の主食用米作付意向

	A	B	C	CのBからの超過率
	7年産実績	需給見通し水準の作付	1月末時点作付意向	作付意向が需給見通し水準の作付からどれだけ超過しているか
岩手	260.8	250.6	258.7	3.2%

*「B:需給見通し水準の作付」は、需要に応じた生産のための詳細な情報提供の一環として、国が示した令和8年産の需給見通しの生産量(711万トン)と令和7年産の作付実績の都道府県シェアをもとにJA全中が試算したもので、都道府県ごとの生産の目安とは異なります。

A: 農林水産省「作物統計」よりふるい目1.70mmで選別した場合の生産量
B: 農林水産省「作物統計」より各県の1.70mmふるい目標の直近5か年(3か年平均)の単収を用いて計算。
C: 農林水産省「令和8年産第1回中間的取組状況(1月末時点)」より各県の1.70mmふるい目標の直近5か年(3か年平均)の単収を用いて計算。

米政策に係る



Q1

米の需要は
減っているのでしょうか？
価格への影響はありますか？

.....

A1

これまで国が示してきた米の需給見通しでは、毎年10万tずつ需要が減っていく傾向にあるとされていましたが、農林水産省が令和7年に米の需給見通しの考え方を見直したことで、令和7年の米の需要量は増加しました。

米価は需給のバランスによって決まるため、米価の安定に向けて需要に応じた生産が必要です。

Q2

本県だけが需要に応じた米生産に取り組んでも効果はないのでしょうか？

.....

A2

需要に応じた米生産を行うためには、全国の関係者が協力し、生産者ひとり一人が取り組むことが重要となります。

そのため、各都道府県が組織する協議会では、国が毎年定期的に公表している米の需給見通しや前年度の作付面積などのデータを参考に生産量の目安などを設定しています。